



ささ りん どう 笹 竜 胆 だより



教育目標「自ら考え 互いに助け合い 粘り強くやり抜く生徒」

ホームページ版(生徒名は、名字のみ)

令和8年度 阿木中学校通信 令和8年7月17日
校長 齋藤 篤史

6/17(水) 元プロサッカー選手 山内寛史 氏 から学ぶ

演題 「夢をもつことと、自分を客観視することの大切さ」



元 FC 岐阜の山内寛史氏を講師にお招きし、PTA 講演会を開催しました。

山内氏は、ご自身のサッカー人生を振り返りながら、「最初から明確な夢がなくても、好きなことに熱中する中で目標は形づくられていくこと」、「目標に向かうには、自分を冷静に見つめる客観視(なりたい自分と今の自分を冷静に見つめること)が必要なこと」、「周囲(支えてくれる家族や仲間)への感謝が自分の行動の質を高めること」を、生徒にも保護者にも分かりやすく語ってくださいました。

6/30(火)～7/1(水) 福祉体験学習(1年生 総合)

6/8(月)「福祉の仕事学校訪問説明会」にて、岐阜県社会福祉協議会の方から、福祉現場の仕事について、近隣の福祉施設の映像等を見せていただきながら説明を聞きました。

6/10(水)「認知症サポーター養成講座」にて、地域包括支援センターの方から、「認知症」についての正しい理解や、高齢者と接する際に大切にしたい姿勢について学ぶことで、生徒は相手の立場に立って考える視点を得ることができました。

6/30(火)～2日間、地元にある養護老人ホームや高齢者福祉施設を訪問し、福祉体験を行いました。施設では、利用者との交流や職員の方の仕事の様子に触れ、相手に応じた声のかけ方や関わり方、支える仕事の大切さについて学ぶことができました。体験を通して、生徒は福祉の仕事への理解を深めるとともに、人と関わる喜びや難しさ、地域で支え合って生きることの大切さを実感することができました。



6/29(月) 中津川市教育研究会「社会:戦後日本の発展」授業公開(3年生)

今年度1回目の「市教研 研究授業」が阿木中学校3年1組で行われました。『敗戦国の日本が戦後急速な発展を遂げることができたのはなぜか』という学習課題に対して、戦後の6つの出来事「戦後改革」「日本国憲法」「サンフランシスコ平和条約」「国際連合への復帰」「朝鮮戦争特需(特需景気)」「東京オリンピック」を軸としたオリジナルレーダーチャートを作成し、学び合い(意見交流)しました。

参観された中津川市の社会科の先生方からは、「阿木中の3年生は、課題に集中して取り組み、仲間と自然な意見交流ができるのがすごい。」と称賛をいただきました。





7/7(火)～7/8(水) 職場体験学習(2年生)

キャリア教育の一環として、様々な事業所や施設などで、実際に働くことを通して、地域の人々との交流や、働くことの意義、大切さや苦勞や喜びを理解するとともに、自分の将来について考えていく態度を養うことを目的として実施しました。「飲食」、「製造」、「観光」、「動物」、「スポーツ用品販売」、「医療」、「行政」、「教育」など、さまざまな企業や事業所にご協力いただきました。社会性(マナー、礼儀など)、少しは身に付いたかな。



7/8(水) 保育実習(3年生 家庭科)

幼児と直接かかわる体験(生活や遊び)を通して、子どもの発達や保育者の仕事への理解を深め、思いやりやコミュニケーション力(接し方や言葉かけ等)を育てること目的として実施しました。あわせて、将来、自分が子育てをする立場を想像したり、職業観を広げ将来の進路選択の一つとしても考えたりする機会となりました。



7/4(土)～、中体連 東濃大会 → 阿木中 Fight !! 上位大会(県、東海、全国)へ。



男子バレーボール(VCAGI)準優勝。卓球個人:酒井6位・酒井13位。軟式野球(第一中・阿木中)準優勝。

以上、中体連岐阜県大会へ出場決定!!